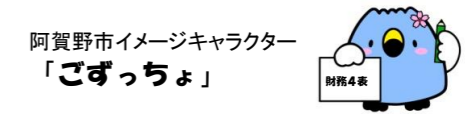


令和2年度 阿賀野市の財務書類（概要版）



令和2年度決算について、統一的な基準に基づく財務書類を作成しました。

※「一般会計等財務書類」は一般会計のみ、「全体財務書類」は一般会計等に特別会計・企業会計など地方公営事業会計を加えたもの、「連結財務書類」は全会計に一部事務組合など市の関連団体を加えたものになります。

貸借対照表 (BS)

令和2年度末(令和3年3月31日)時点における資産と、その資産形成に必要な財源である負債及び純資産を表したものです。資産に対する将来世代の負担(負債)と過去及び現役世代の負担(純資産)の割合を把握することができます。

一般会計等では、資産は約633億円となっており、そのうち有形固定資産が85.0%を占め、約536億円となっています。負債は約268億円となっており、資産のうち42.3%が将来世代の負担であることを表しています。純資産は約365億円となっており、資産のうち57.7%が過去及び現役世代の負担であることを表しています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結		一般会計等	全体	連結
1. 固定資産	59,635	116,679	118,534	1. 固定負債	24,111	73,418	73,738
(1) 有形固定資産	53,586	108,741	109,897	(1) 地方債	19,406	45,794	46,055
① 事業用資産	27,501	33,721	34,798	(2) 退職手当引当金	4,705	5,344	5,403
② インフラ資産	25,597	71,249	71,252	(3) その他	0	22,280	22,281
③ 物品	488	3,771	3,847	2. 流動負債	2,689	4,836	4,869
(2) 無形固定資産	96	1,389	1,390	(1) 1年内償還予定	2,331	3,979	4,007
(3) 投資その他資産	5,954	6,548	7,247	地方債			
2. 流動資産	3,681	5,652	6,048	(2) 賞与等引当金	238	270	273
(1) 現金預金	1,297	3,057	3,304	(3) その他	120	588	588
(2) 基金	2,329	2,329	2,477	負債合計	26,800	78,253	78,607
(3) その他	55	266	266	純資産合計	36,516	44,077	45,974
資産合計	63,316	122,330	124,582	負債・純資産合計	63,316	122,330	124,582

行政コスト計算書 (PL)

令和2年度中の資産形成に結びつかない行政活動に要した費用と、使用料等の収入の関係を表したものです。官庁会計では捕捉できなかった現金支出を伴わない費用(減価償却費など)も計上しています。

一般会計等では、費用から収入を除いた純行政コストは約232億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
経常費用	23,501	34,759	38,230
1. 業務費用	10,694	14,977	15,186
(1) 人件費	3,576	4,330	4,092
(2) 物件費等	6,874	9,933	10,304
(3) その他業務費用	243	714	790
2. 移転費用	12,808	19,782	23,044
経常収益	318	2,054	2,127
純経常行政コスト	23,183	32,705	36,103
臨時損失	27	50	50
臨時利益	1	87	87
純行政コスト	23,209	32,668	36,066

純資産変動計算書 (NW)

令和2年度中の純資産の変動要因を表したものです。純資産の増加は現役世代の負担によって将来世代の負担が減少したことを表し、純資産の減少は反対に将来世代の負担が増加したことを表します。

一般会計等では、純資産は約6億円増加し、本年度末残高は約365億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
前年度末純資産残高	35,888	43,860	45,835
1. 純行政コスト(Δ)	△ 23,209	△ 32,668	△ 36,066
2. 財源	23,728	32,543	35,973
(1) 税収等	13,589	17,557	18,991
(2) 国県等補助金	10,139	14,986	16,982
本年度差額	519	△ 125	△ 93
その他	109	342	233
(無償所管換等)			
本年度純資産変動額	628	217	140
本年度末純資産残高	36,516	44,077	45,974

資金収支計算書 (CF)

令和2年度中の資金の動きを業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支の3つの区分で表したものです。なお、歳計外現金は本表の欄外に表示します。

一般会計等では、資金は約3億円増加し、歳計外現金を合わせた本年度末現金預金残高は約13億円となっています。

(単位:百万円)

	一般会計等	全体	連結
業務活動収支	1,913	3,175	3,319
投資活動収支	△ 922	△ 1,574	△ 1,602
財務活動収支	△ 727	△ 1,339	△ 1,322
本年度資金収支額	264	262	395
前年度末資金残高	915	2,677	2,800
本年度末資金残高	1,180	2,940	3,187

本年度末歳計外現金残高	117	117	118
本年度末現金預金残高	1,297	3,057	3,304

●市民1人あたりで計算してみると…

※住民基本台帳人口:41,372人(令和3年1月1日時点)

貸借対照表 (BS)

(単位:千円)

	一般	全体	連結		一般	全体	連結
資産	1,530	2,957	3,011	負債	648	1,891	1,900
				純資産	883	1,065	1,111
資産合計	1,530	2,957	3,011	負債・純資産合計	1,530	2,957	3,011

行政コスト計算書 (PL)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
経常費用	568	840	924
経常収益	8	50	51
純経常行政コスト	560	791	873
純行政コスト	561	790	872

純資産変動計算書 (NW)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
前年度末純資産残高	867	1,060	1,108
本年度純資産変動額	15	5	3
本年度末純資産残高	883	1,065	1,111

一般会計等では…

- ・貸借対照表
1人あたりの資産は約153万円、負債は約65万円となっています。
- ・行政コスト計算書
1人あたりの純行政コストは約56万円となっています。
- ・純資産変動計算書
1人あたりの純資産は約88万円となっています。
- ・資金収支計算書
1人あたりの現金預金は約3万円となっています。

資金収支計算書 (CF)

(単位:千円)

	一般	全体	連結
本年度資金収支額	6	6	10
前年度末資金残高	22	65	68
本年度末資金残高	29	71	77
本年度末現金預金残高	31	74	80

※表中、表示単位未満は四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。